

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「GS エマージング通貨債券ファンド 年2回決算コース」は、このたび、第3期の決算を行いました。本ファンドは、エマージング諸国の現地通貨建て債券への分散投資を通じて、相対的に高い金利収入と長期的な通貨価値の上昇を捉えることをめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第3期末(2019年6月24日)		第3期	
基準価額	9,336円	騰落率	7.24%
純資産総額	1,160百万円	分配金合計	0円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。



交付運用報告書

# GS エマージング通貨債券ファンド 年2回決算コース

追加型投信／海外／債券

第3期(決算日2019年6月24日)

作成対象期間: 2018年12月26日～2019年6月24日

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

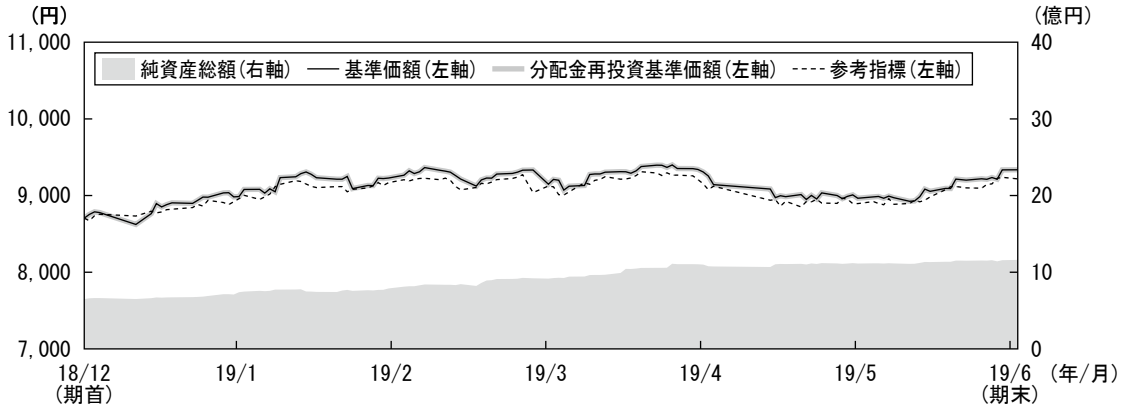
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

## ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー  
お問合せ先: 03-6437-6000(代表)  
受付時間: 営業日の午前9時～午後5時 | [www.gsam.co.jp](http://www.gsam.co.jp)

## 運用経過

### ■ 基準価額等の推移について（2018年12月26日～2019年6月24日）



第3期首：8,706円

第3期末：9,336円

（当期中にお支払いした分配金：0円）

騰落率：+7.24%（分配金再投資ベース）

- (注1) 参考指標はJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

### ■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の8,706円から630円上昇し、期末には9,336円となりました。

#### 上昇要因

現地通貨建てエマージング債券市場（現地通貨ベース）のトータル・リターンがプラスであったことなどが基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

エマージング通貨が対円で概ね下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

## ■ 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、円換算ベース）

ファンド名	騰落率
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ* <sup>1</sup>	7.90%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド* <sup>2</sup>	-1.20%

(注) 純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

\* 1 ルクセンブルク籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. - ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ IXシエアクラス

\* 2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ビーエルシー-ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド インスティテューショナル・アキュムレーション・シエアクラス

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2018年12月26日~2019年6月24日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	45円 ( 2)	0.498% (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(41)	(0.455)	
(受託会社)	( 1)	(0.016)	
その他費用 (保管費用)	3 ( 1)	0.032 (0.006)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	( 1)	(0.011)	
(その他)	( 1)	(0.014)	
合計	48	0.530	

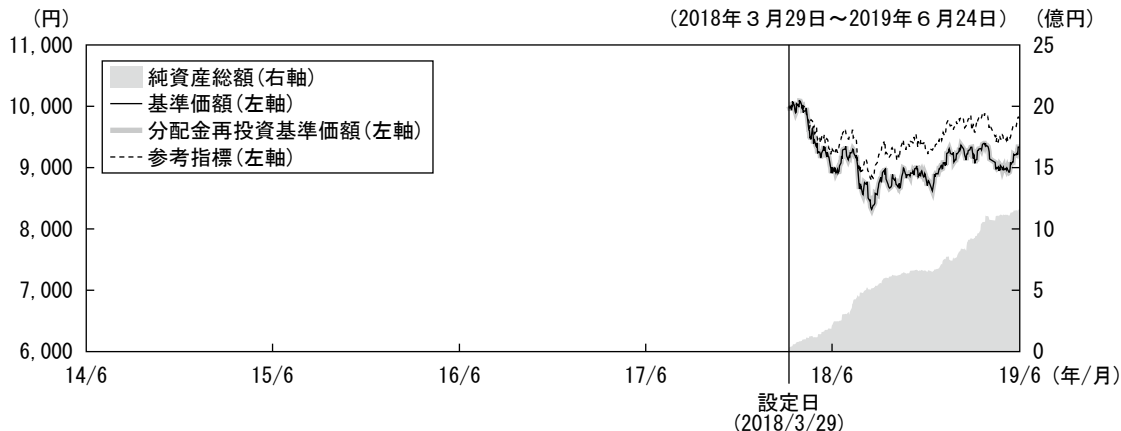
期中の平均基準価額は9,062円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、設定日（2018年3月29日）の基準価額を起点として指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2018/3/29 設定日	2018/6/22 決算日	2019/6/24 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	8,909	9,336
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	−10.91%	4.79%
参考指標騰落率	—	−7.01%	5.41%
純資産総額（百万円）	34	219	1,160

(注) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## ■ 投資環境について

### <エマージング債券市場>

当期の現地通貨建てエマージング債券市場は上昇しました。期の序盤は、2019年1月のFOMC（米連邦公開市場委員会）後の声明で、FRB（米連邦準備制度理事会）が追加利上げの一時停止を示唆し、ハト派（景気重視）的な姿勢を示したことなどを背景に投資家のリスク選好度が高まったことや、トランプ米大統領が米中首脳会談を望んでいるとの報道などを受けて、米中通商協議の進展が期待されたことなどから上昇基調で推移しました。期の中盤も、3月のFOMCにおいて年内の利上げ見通しが下方修正されたことや、3月の中国の製造業PMI（購買担当者景気指数）が市場予想を上回ったことなどが支援材料となり、上昇基調が継続したものの、軟調な3月の独製造業PMIや米長短金利の逆転などを受けて世界経済への懸念が高まったことなどが上値を抑える展開となりました。期の終盤は、米中貿易摩擦の激化や原油価格の下落などが重石となったものの、米国が輸入自動車への追加関税に関する判断を半年間先送りするとの報道などを受け、投資家心理が改善した局面などで上昇したほか、期末にかけて、米金融当局者のハト派寄りの発言や、米国によるメキシコに対する追加関税が延期されたことなどを背景にさらに上昇した結果、前期末を上回る水準で期を終えました。国別では、チリやフィリピンなどの上昇が目立つ一方、アルゼンチンは下落しました。チリについては、中央銀行の議事録が利下げの検討を示唆するなどハト派的と受け止められたことなどがプラス材料となりました。アルゼンチンは、高インフレが継続し経済情勢の改善が見られないなか、10月の大統領選挙における左派候補の台頭などがマイナス材料となりました。

### <エマージング通貨市場>

当期中のエマージング通貨は、対円で概ね下落する展開となりました。通貨別では、アルゼンチン・ペソやウルグアイ・ペソなどの下落が目立つ一方、ロシア・ルーブルやタイ・バーツなどが上昇しました。アルゼンチン・ペソは、インフレ率の上昇傾向が続いている同国において2月の消費者物価指数が加速したことや、2018年10-12月期の実質GDP（国内総生産）成長率が軟調な結果となったことなどがマイナス材料となりました。ロシア・ルーブルは、原油価格が上昇したことなどがプラス材料となりました。

### <短期金融市場>

当期において、1ヵ月物米ドルLIBOR（ロンドン銀行間取引金利）は前期末の2.51%程度から2.40%程度まで低下して期末を迎えました。

## ■ ポートフォリオについて <本ファンド>

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、当期を通じてゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオを概ね高位に組入れることによって、エマージング諸国の現地通貨建て債券に分散投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

## <ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ>

期首においてはインドネシアやコロンビアの現地通貨建て債券のほか、ハンガリー・フォリントやポーランド・ズロチといった通貨などに対して相対的に強気のポジションを取った一方、ポーランドやチェコの現地通貨建て債券のほか、中国・人民元やルーマニア・レイといった通貨などに対して相対的に弱気のポジションを取りました。期末においては、タイや南アフリカの現地通貨建て債券のほか、チェコ・コルナやメキシコ・ペソといった通貨などに対して相対的に強気のポジションを取った一方、チェコやポーランドの現地通貨建て債券のほか、ルーマニア・レイやマレーシア・リングgitといった通貨などに対して相対的に弱気のポジションを取りました。

上記のような運用の結果、当期のパフォーマンス（米ドルベース）は、ベンチマークであるJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）を上回りました。

当期は、メキシコ、アルゼンチンなどの現地通貨建て債券のポジションやエジプト・ポンド、ロシア・ルーブルなどの通貨ポジションがプラス寄与となりました。一方、中国、フィリピンなどの現地通貨建て債券のポジションやブラジル・レアル、韓国ウォンなどの通貨ポジションがマイナス寄与となりました。

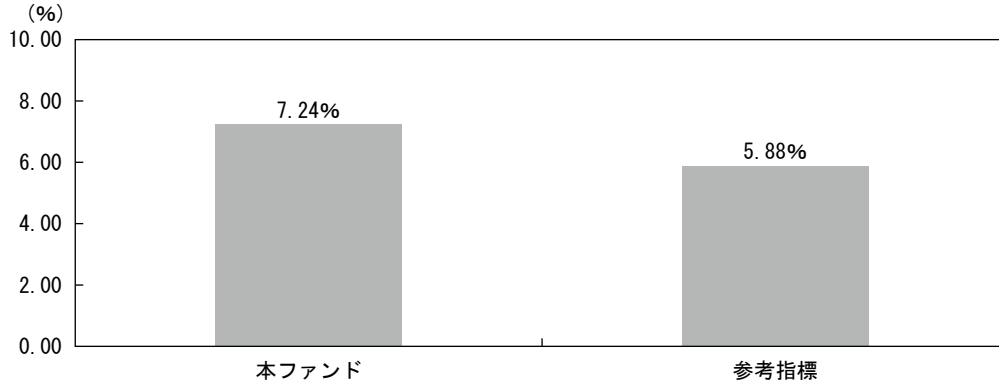
## <ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

## ■ ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

### <当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>



(注) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+7.24%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+5.88%となりました。

## ■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、当期の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### <分配原資の内訳>

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項 目	第 3 期	
	2018年12月26日～2019年6月24日	
当期分配金	—	
(対基準価額比率)	—	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	1,602	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針について

### <本ファンド>

今後も引き続きゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオの組入れを高位に保ち、エマージング諸国の現地通貨建て債券に分散投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### <ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ>

現地通貨建てエマージング債券市場は、FRBの政策スタンスがハト派色を強めたことを背景とした米金利上昇懸念の後退、中国当局による政策支援などが下支えになると見えています。また、エマージング諸国における経済成長の潜在力、堅固な対外収支構造などが中長期的な支援材料と考えます。しかし、米中通商協議をめぐる不透明感が高まっていることから、慎重ながらも楽観的な見方をしています。このような環境下では、各国のファンダメンタルズなどを精査しつつ、ポジションを構築することが重要と考えます。

当社では、エマージング通貨についてはチェコ・コルナやメキシコ・ペソなどを強気に見る一方、ルーマニア・レイやマレーシア・リングなどを弱気に見ています。チェコ・コルナについては、国際収支が良好であることなどから強気に見ています。ルーマニア・レイについては、拡張的な財政などを懸念し、弱気に見ています。現地通貨建て債券については、タイや南アフリカなどを強気に見る一方、チェコやポーランドなどを弱気に見ています。タイについては、経済活動に減速が見られ、インフレ圧力も弱いなか、中央銀行は政策金利を据え置くとの見方から強気に見ています。一方、チェコについては、政府支出の伸びなどを懸念するほか、労働市場の強さなどを背景に弱気に見ています。今後も引き続き運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### <ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

(上記見通しは2019年6月24日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

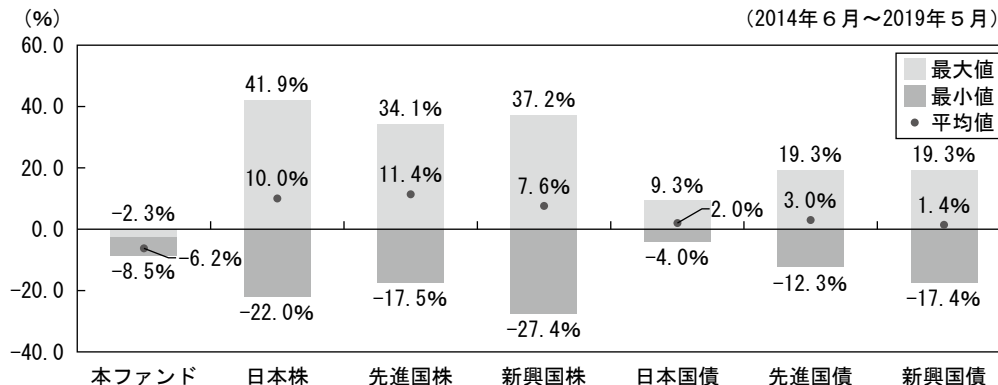


## 本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2028年3月22日まで
運用方針	エマージング諸国の現地通貨建て債券を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルクセンブルク籍外国投資証券            ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V.            ①ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ</li> <li>・アイルランド籍外国投資証券            ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー            ②ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド</li> </ul>
指定投資信託証券①	エマージング諸国の主に現地通貨建て債券
指定投資信託証券②	主に米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年6月22日および12月22日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

## (参考情報)

## ■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2014年6月から2019年5月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、本ファンドの1年騰落率は、各月末の直近1年間の騰落率であるため、設定日（2018年3月29日）から1年後の2019年3月以降のデータを表示しています。

## ○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 本ファンドのデータ

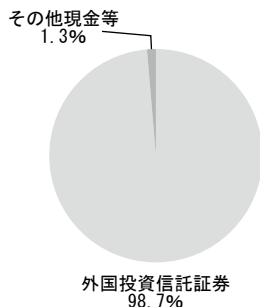
■ 本ファンドの組入資産の内容 (2019年6月24日現在)

○ 組入れファンド

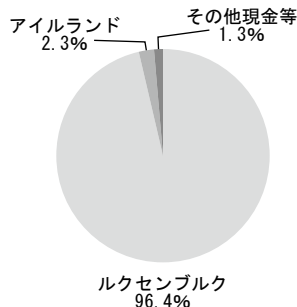
(組入銘柄数 : 2 銘柄)

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ	96.4%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.3%

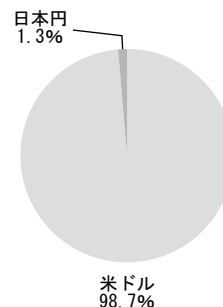
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



(注) 上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

項目	第3期末
	2019年6月24日
純資産総額	1,160,834,502円
受益権総口数	1,243,395,224口
1万口当たり基準価額	9,336円

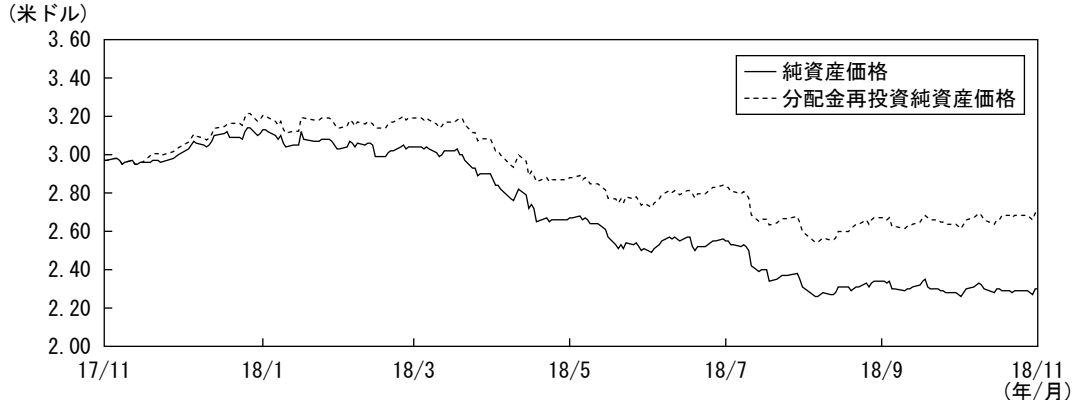
(注) 期首元本額は745,495,703円、当作成期間中において、追加設定元本額は628,703,613円、同解約元本額は130,804,092円です。

## ■ 組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ> (2018年11月30日現在)

\*組入れファンドの決算は、年1回(毎年11月末)です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2018年11月30日時点までの状況をご報告申し上げます。

## ○純資産価格等の推移について (2017年12月1日～2018年11月30日)



(注1) 分配金再投資純資産価格は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資純資産価格は、2017年11月30日の純資産価格を起点として指数化しています。

## ○費用明細 (単位：米ドル)

費用	
当座借越支払利息	2,316
スワップ契約にかかる支払利息	18,805,531
投資顧問報酬	16,130,111
保管費用	1,319,911
管理事務代行報酬	376,277
販売報酬およびサービシング報酬	60,974
名義書換事務代行報酬	97,760
年次税	275,371
監査報酬	23,035
管理会社報酬	269,346
取締役報酬	17,297
弁護士報酬	30,220
印刷費用	39,967
出版費用	8,168
税務報告報酬	44,503
支払代理人報酬	24,981
規制報告報酬	55,041
その他費用	127,013
	<hr/>
	37,707,822
投資顧問報酬調整額	(3,226)
費用合計	<hr/>
	37,704,596

(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2017年12月1日から2018年11月30日までのものです。

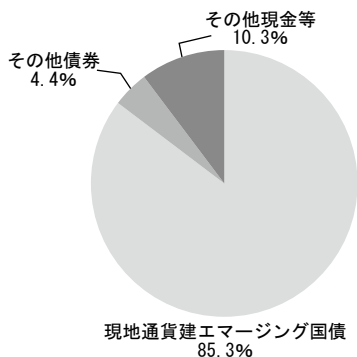
(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○債券特性値

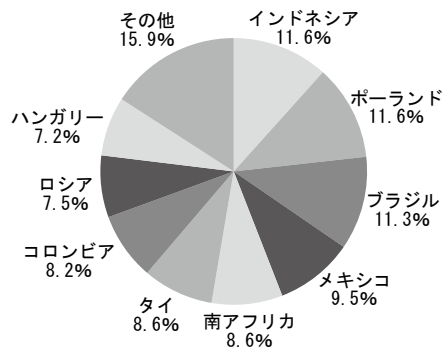
最終利回り : 8.35%

デュレーション : 5.46年

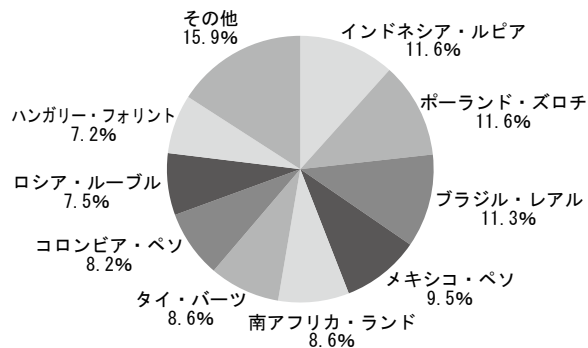
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数 : 210銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	GS US LIQUID RESERVES FUND	その他	米ドル	6.1%
2	SOUTH AFRICAN GOVT 8.875% 28 FEB 2035	国債	南アフリカ・ランド	2.9%
3	SOUTH AFRICAN GOVT 8.5% 31 JAN 2037	国債	南アフリカ・ランド	2.9%
4	THAI GOVT 3.65% 17 DEC 2021	国債	タイ・バーツ	2.3%
5	BRAZILIAN GOVT 10% 01 JAN 2021 144A	国債	ブラジル・レアル	2.2%
6	TURKISH GOVT 12.2% 18 JAN 2023	国債	新トルコ・リラ	2.2%
7	INDONESIAN GOVT-STANDARD CHARTERED BANK 9% 19 MAR 2029 144A	国債	インドネシア・ルピア	2.1%
8	INDONESIAN GOVT-STANDARD CHARTERED BANK 8.75% 19 MAY 2031 144A	国債	インドネシア・ルピア	2.0%
9	RUSSIAN GOVT 6.5% 28 FEB 2024	国債	ロシア・ルーブル	1.9%
10	BRAZILIAN GOVT 10% 01 JAN 2027 144A	国債	ブラジル・レアル	1.8%

(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

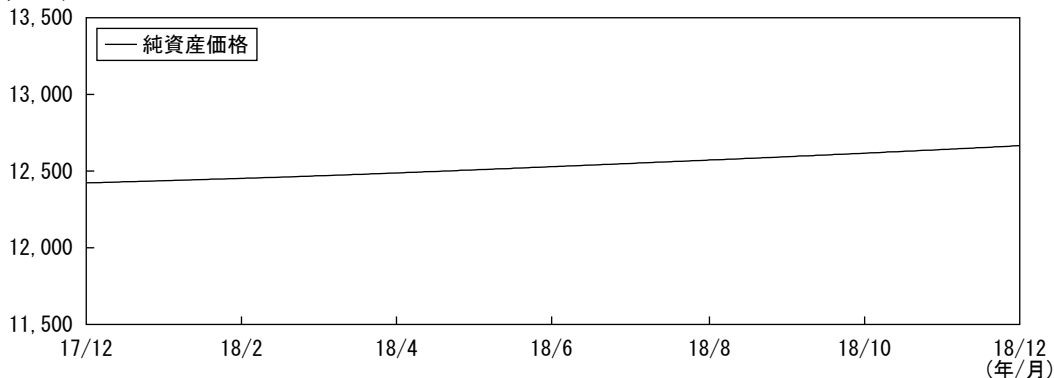
\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## &lt;ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド&gt; (2018年12月31日現在)

\*組入れファンドの決算は、年1回(毎年12月末)です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2018年12月31日時点までの状況をご報告申し上げます。

## ○純資産価格等の推移について(2018年1月1日~2018年12月31日)

(米ドル)



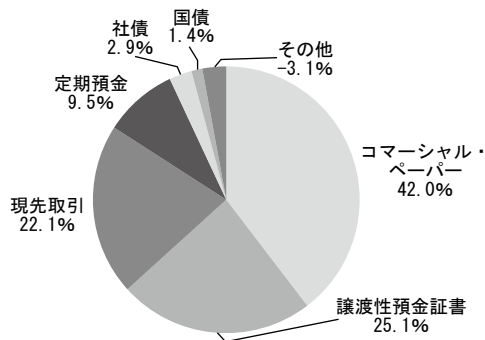
## ○費用明細(単位:米ドル)

費用	
投資顧問報酬	77,840,088
管理会社報酬	4,377,782
管理事務代行報酬	1,523,962
保管費用	2,450,817
販売報酬	3,320,837
名義書換事務代行報酬	520,180
監査報酬	18,519
取締役報酬	26,098
弁護士報酬	23,399
保険費用	144,779
印刷費用	30,155
その他費用	644,651
費用合計	90,921,267
投資顧問報酬調整額	(8,746,244)
運用費用合計	82,175,023

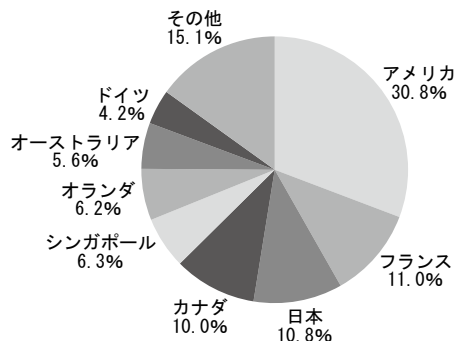
(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2018年1月1日から2018年12月31日までのものです。

(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

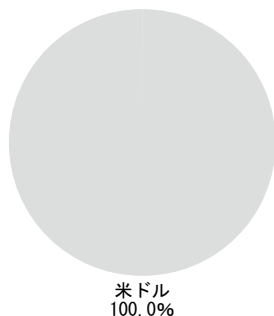
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数：306銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	Wells Fargo Securities LLC Repo 3.020% 2019/2/1	現先取引	米ドル	9.5%
2	ING Bank NV Repo 2.750% 2019/2/1	現先取引	米ドル	3.1%
3	Australia & New Zealand Banking Group Ltd 2.450% 2019/4/1	定期預金	米ドル	3.0%
4	Societe Generale Repo 2.520% 2019/2/1	現先取引	米ドル	2.8%
5	Royal Bank of Canada 2.480% 2019/3/1	定期預金	米ドル	1.7%
6	Wells Fargo Securities LLC Repo 3.000% 2019/2/1	現先取引	米ドル	1.7%
7	Toronto-Dominion Bank/The 2.500% 2019/2/1	コマーシャル・ペーパー	米ドル	1.5%
8	DBS Bank Ltd 2.440% 2019/7/1	定期預金	米ドル	1.4%
9	DBS Bank Ltd 2.440% 2019/2/1	定期預金	米ドル	1.4%
10	United States Treasury Bill 2.478% 2019/5/7	国債	米ドル	1.4%

(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。